

# 北海道帯広市における小学校のフッ化物洗口の効果

- ・北海道歯・口腔の健康づくり8020推進条例に基づき、帯広市内の小学校では平成22年12月からフッ化物洗口（週1回法）を開始
- ・小学1年生からフッ化物洗口を経験した児童が平成28年3月に同校を卒業したことから、フッ化物洗口を経験した小学校卒業生及びフッ化物洗口非経験の小学校卒業生の双方が在籍する中学校の1年生を対象として平成28年度にむし歯の有病状況を検査者盲検法により調査
- ・最終的な分析対象は、フッ化物洗口経験群が72人、非経験群592人

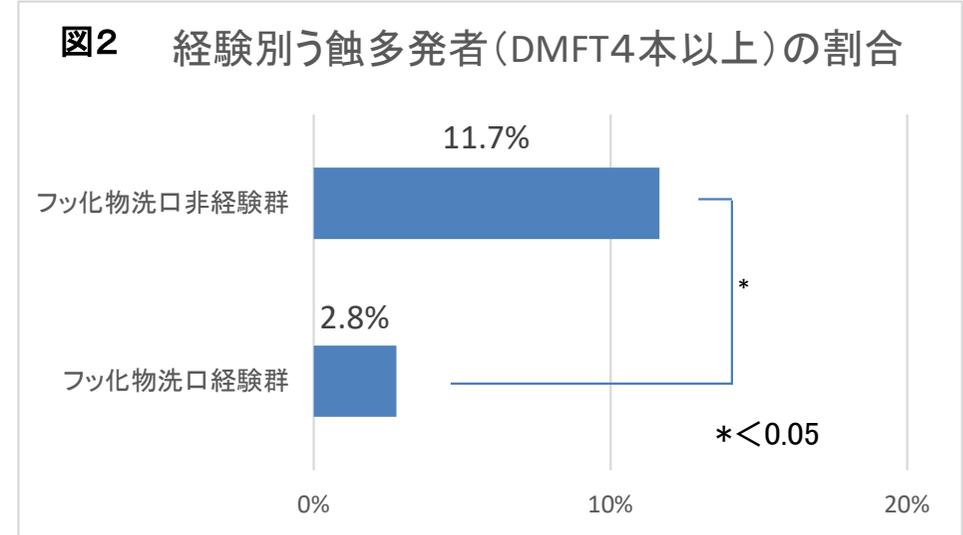
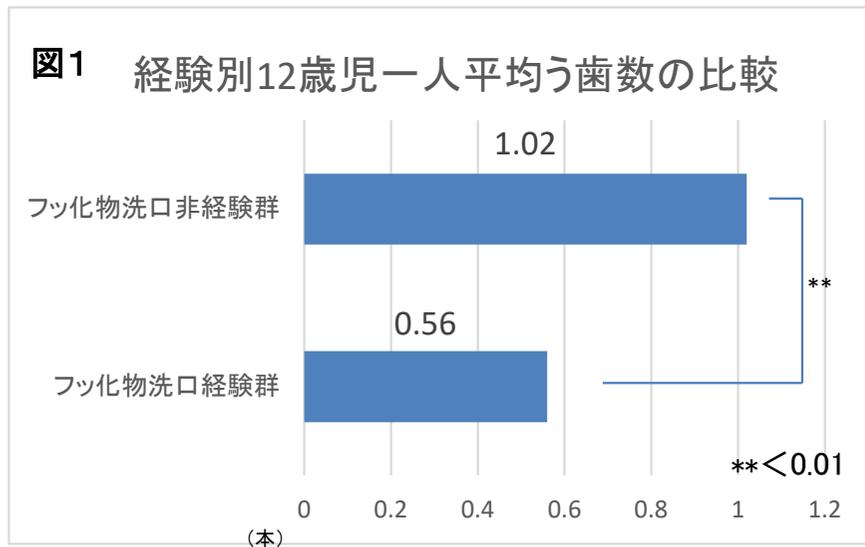


表1 前歯部う蝕の保有者の割合

フッ化物洗口経験群	0人	0%
フッ化物洗口非経験群	51人	8.60%

- ・フッ化物洗口経験群では、12歳児の平均むし歯数が概ね半減する効果が得られた。
- ・むし歯多発者が大きく減少した他、経験群では前歯部のむし歯が認められなかった。

# 科学的根拠に基づいた地域歯科保健プログラムの先進事例

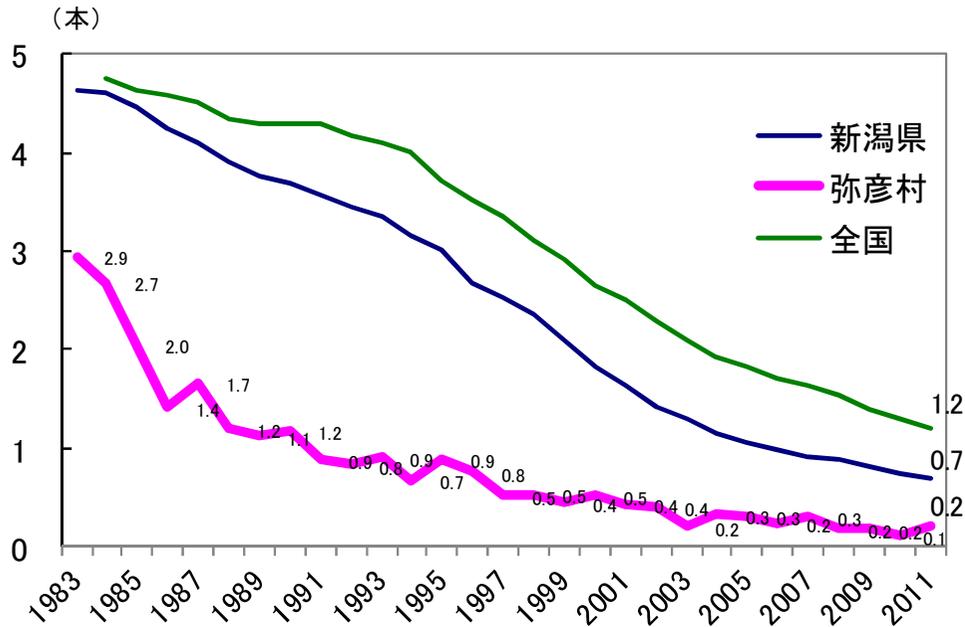
科学的根拠に基づく複数のう蝕予防対策(フッ化物洗口+シーラント応用+健康教育プログラム)を実施することで、学校全体の12歳児DMFTをゼロに近づけることが可能であることが証明されつつある。

## 新潟県弥彦小学校

### ・プログラム内容

フッ化物洗口、歯科検診、CO予防管理、歯肉炎予防教室、口腔衛生指導、家庭・地域との連携

### ・12歳児(中学1年)1人平均う歯数の推移

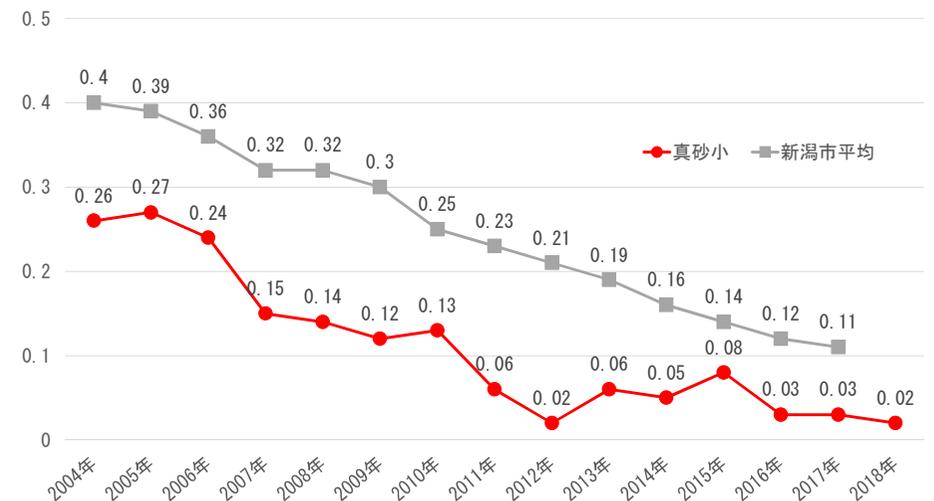


## 新潟市立真砂小学校

### ・プログラム内容

フッ化物洗口、歯科検診(年2回)、CO予防管理、各種教室、歯の健康ノート、口腔衛生指導(全員)

### ・6年生1人平均う歯数の推移



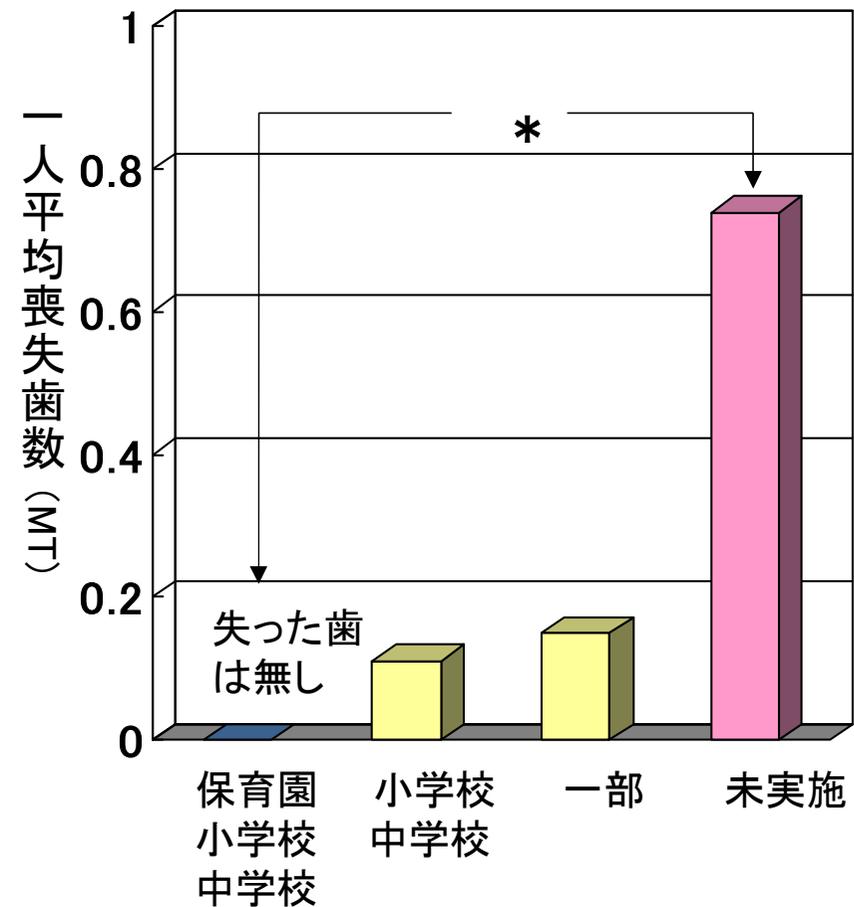
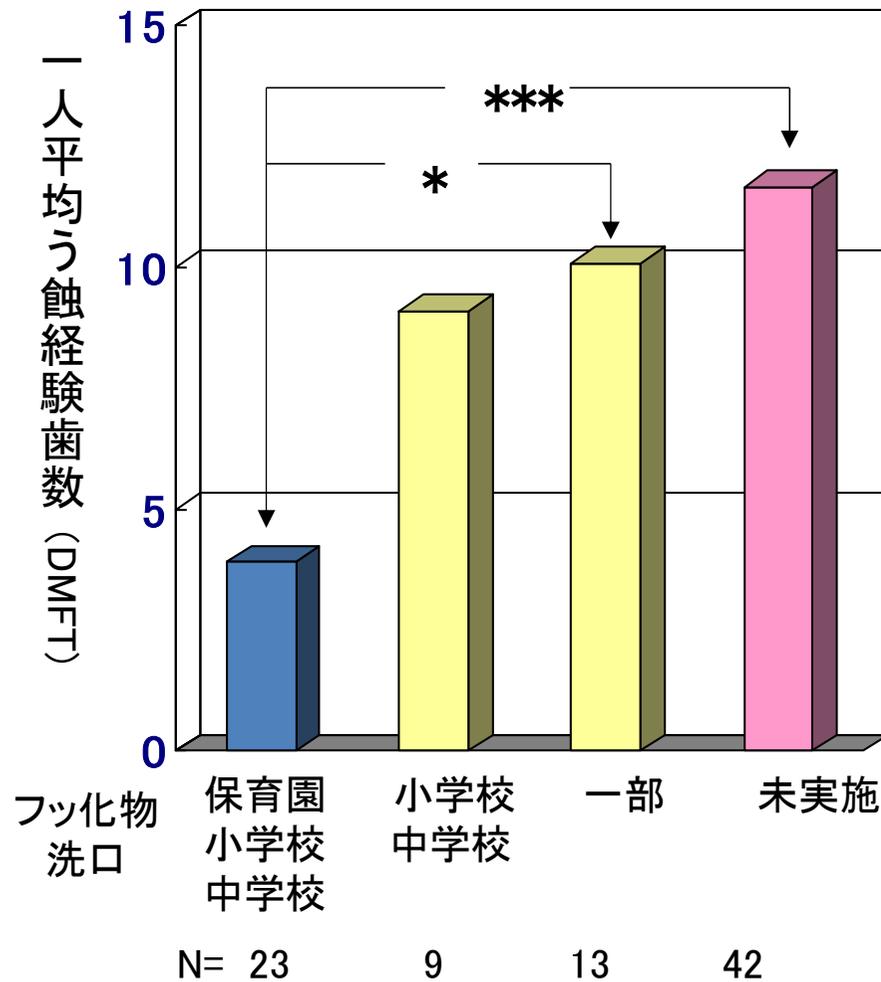
明倫短期大学 木暮ミカ教授 提供

# フッ化物洗口経験の有無による成人期のう蝕罹患状況の比較

子ども時代のフッ化物洗口経験によって、成人期のう蝕罹患状況を大きく改善できる効果も期待できる。

## フッ化物洗口経験別成人女性のう蝕経験歯数

弥彦村在住：平均年齢 31.6 歳 87名



\*: P<0.05 \*\*\* P<0.001 by Scheffe test

( Neko et al. The Open Dentistry Journal, 2011 )